



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 株式会社 創健社
 コード番号 7413 URL <http://www.sokensha.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 靖
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 飯田雅之
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 045-491-1441

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	2,082	△3.3	△23	—	△22	—	△23	—
30年3月期第2四半期	2,152	△3.2	△35	—	△33	—	△30	—

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 △25百万円 (—%) 30年3月期第2四半期 △28百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	△33.40	—
30年3月期第2四半期	△44.04	—

(注)平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
31年3月期第2四半期	2,656	—	971	—	36.6	1,388.82
30年3月期	2,810	—	1,004	—	35.7	1,435.44

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 971百万円 30年3月期 1,004百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	6.7	20	—	20	—	13	—	18.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	705,500 株	30年3月期	705,500 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

31年3月期2Q	5,715 株	30年3月期	5,715 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期2Q	699,785 株	30年3月期2Q	699,790 株
----------	-----------	----------	-----------

(注)平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	10
(追加情報)	10
(その他注記事項)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成30年4月1日～平成30年9月30日）におけるわが国経済は、政府・日銀による継続的な経済対策や金融政策の効果から企業収益や雇用環境が改善し、緩やかな回復がみられる一方、米国の保護主義的な通商政策及び東アジアなどの地政学的リスクの影響等により、景気の先行きは依然として不透明な状況のまま推移しております。

当社グループを取り巻く食品業界におきましては、食の安全や食に健康を求める消費者意識が高まる一方、天候不順による原材料の高騰や人手不足を背景とする物流費の上昇、さらには消費者の節約志向などにより、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の下、当社は平成30年2月5日に創立50周年を迎えました。当社グループは、これまでの経験を基により改善に努め、「食」が持つ大切さを訴えるという創業以来の企業使命を果たすため、第4次中期経営計画『新たなマーケットの開拓』（平成29年4月1日から平成32年3月31日まで）を作成しました。その2年目となります当連結会計年度におきましては、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて国内の食の安全と、オーガニック市場への関心について大手食品企業を含めた競争がさらに高まる中、オープンイベント等への参加を開始し当社グループブランド商品のファン作りに注力するとともに、目標の営業利益額を達成するために役員・社員一丸となって取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの商品品目別売上高につきましては、「副食品」が、ピーナッツスプレッド等の売上減があったものの、さば缶詰等の売上増により前年同四半期比30百万円増（7.4%増）の4億45百万円となりました。しかしながら、「油脂・乳製品」が、オリーブオイル等の売上増があったものの、えごま油等の売上減により前年同四半期比48百万円減（14.5%減）の2億87百万円、「調味料」が、シーザーサラダドレッシング等の売上増があったものの、えごまドレッシング等の売上減により前年同四半期比21百万円減（3.1%減）の6億83百万円、「嗜好品・飲料」が、カシューナッツ等の売上増があったものの、五穀茶等の売上減により前年同四半期比17百万円減（4.8%減）の3億51百万円、「その他」が、ひざ掛け毛布等の売上増があったものの、虫よけスプレー等の売上減により前年同四半期比8百万円減（11.4%減）の67百万円、「栄養補助食品」が、新商品ビタミンC等の売上増があったものの、ミドリムシ等の売上減により前年同四半期比4百万円減（4.4%減）の92百万円、「乾物・雑穀」については、前年同四半期並みの1億54百万円となりました。

この結果、全体の売上高は、20億82百万円（前年同四半期比70百万円減、3.3%減）となり、売上総利益率25.4%と前年同四半期とほぼ同率となりました。販売費及び一般管理費は5億53百万円（前年同四半期比29百万円減、5.0%減）となり、営業損益につきましては、営業損失23百万円（前年同四半期は、営業損失35百万円）となり、経常損益につきましては、経常損失22百万円（前年同四半期は、経常損失33百万円）という結果にて終了しました。また親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、親会社株主に帰属する四半期純損失は、23百万円（前年同四半期は、親会社株主に帰属する四半期純損失30百万円）となりました。

品目別販売及び仕入実績の状況

当社グループの事業は単一グループであり、当第2四半期連結累計期間の販売及び仕入実績をセグメントごと及び事業部門ごとに示すことができないため、品目別に示すと、次のとおりであります。

① 販売実績

品目別	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)			主要商品
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同四 半期比	
油脂・乳製品	336,564	15.6	287,926	13.8	14.5%減	マーガリン・ベに花油・えごま油・オリーブ油・ココナッツオイル・菜種油・原材料用サラダ油・ごま油
調味料	704,683	32.7	683,034	32.8	3.1%減	醤油・味噌・砂糖・塩・酢・カレー・シチュー・マヨネーズ・ドレッシング・液体だし・顆粒だし・醗酵調味料・蜂蜜
嗜好品・飲料	368,970	17.1	351,413	16.9	4.8%減	菓子・野菜果汁飲料・お茶・ドライフルーツ・五穀茶・発酵飲料・ナッツ類・メイシーシリーズ(菓子)
乾物・雑穀	154,355	7.2	154,064	7.4	0.2%減	小麦粉・パン粉・米・黒米・雑穀・鰹節・昆布・ひじき・蓮根粉・ハトムギ粒・餅きび・押麦・キヌア・切干大根・チアシード・炒り胡麻・もち麦・味付のり・干し桜えび
副食品	414,577	19.3	445,204	21.4	7.4%増	ジャム・スープ・レトルト食品・麺類・缶詰・熟成発酵黒にんにく・パンケーキ粉・らっきょう甘酢漬・シリアル食品・みそ汁・お節お重商品・炊き込みごはんの素・五目ちらし寿司の素・かき揚げ(冷凍)・コンビーフ・ピーナッツスプレッド・蒲鉾
栄養補助食品	96,944	4.5	92,672	4.4	4.4%減	青汁・キダチアロエ・梅エキス・ミドリムシ・ハトムギ酵素・乳酸菌・天茶エキス・コラーゲン・碁石茶・生姜粉末・板藍根・ルイボス茶・ルテイン・モリンガ(ハーブ系青汁)
その他	76,675	3.6	67,959	3.3	11.4%減	トイレタリー・機械器具・化粧品・虫よけスプレーなど
合計	2,152,771	100.0	2,082,275	100.0	3.3%減	—

※ 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 仕入実績

品目別	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)		
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比
油脂・乳製品	263,510	16.3	213,822	14.0	18.9%減
調味料	533,358	33.0	512,076	33.6	4.0%減
嗜好品・飲料	283,946	17.6	260,672	17.1	8.2%減
乾物・雑穀	125,661	7.8	124,001	8.2	1.3%減
副食品	278,991	17.2	290,203	19.0	4.0%増
栄養補助食品	68,742	4.2	65,993	4.3	4.0%減
その他	63,488	3.9	58,078	3.8	8.5%減
合計	1,617,699	100.0	1,524,849	100.0	5.7%減

※ 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1億59百万円の減少となりました。この主な要因は、「現金及び預金」の1億50百万円減少及び「商品及び製品」の11百万円減少などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5百万円の増加となりました。この主な要因は、「建設仮勘定」の3百万円減少などがあつたものの、「リース資産」の9百万円増加などによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1億54百万円減少し、26億56百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1億2百万円の減少となりました。この主な要因は、「短期借入金」の91百万円減少及び「支払手形及び買掛金」の8百万円減少などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて19百万円の減少となりました。この主な要因は、「リース債務」の8百万円増加、「退職給付に係る負債」の7百万円増加及び「役員退職慰労引当金」の4百万円増加などがあつたものの、「長期借入金」の39百万円減少などによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1億21百万円減少し、16億84百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて32百万円の減少となりました。この主な要因は、「利益剰余金」の30百万円減少（親会社株主に帰属する四半期純損失23百万円の計上及び配当金の総額6百万円）及び「その他有価証券評価差額金」の2百万円減少などによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、営業活動の結果2百万円、投資活動の結果16百万円及び財務活動の結果1億31百万円を使用し、当第2四半期連結会計期間末には9億48百万円（前年同四半期比96百万円増）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に係るキャッシュ・フローは、たな卸資産の減少額13百万円及び減価償却費10百万円などにより一部相殺されたものの、税金等調整前四半期純損失21百万円及び仕入債務の減少額7百万円などにより、使用した資金は2百万円（前年同四半期比17百万円減）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に係るキャッシュ・フローは、保険積立金の解約による収入6百万円などにより一部相殺されたものの、有形固定資産の取得による支出12百万円及び保険積立金の積立による支出9百万円などにより、使用した資金は16百万円（前年同四半期比4百万円増）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に係るキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入20百万円及びセール・アンド・リースバックによる収入10百万円により一部相殺されたものの、長期借入金の返済による支出1億円及び短期借入金の純減額50百万円などにより、使用した資金は1億31百万円（前年同四半期比76百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、前回予想（平成30年5月18日に発表いたしました連結業績予想）から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,332,521	1,181,615
受取手形及び売掛金	686,387	687,850
商品及び製品	239,840	228,060
仕掛品	115	91
原材料及び貯蔵品	29,660	27,501
その他	20,261	23,809
貸倒引当金	△1,623	△1,762
流動資産合計	2,307,163	2,147,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	296,275	298,408
減価償却累計額	△243,071	△245,287
建物及び構築物(純額)	53,203	53,121
土地	88,371	88,371
リース資産	39,748	52,365
減価償却累計額	△15,880	△19,262
リース資産(純額)	23,867	33,103
建設仮勘定	3,628	8
その他	187,430	189,796
減価償却累計額	△170,779	△171,846
その他(純額)	16,650	17,950
有形固定資産合計	185,722	192,555
無形固定資産		
その他	8,871	8,323
無形固定資産合計	8,871	8,323
投資その他の資産		
投資有価証券	94,146	90,918
保険積立金	176,429	179,575
その他	41,211	39,198
貸倒引当金	△2,972	△1,481
投資その他の資産合計	308,814	308,211
固定資産合計	503,408	509,090
資産合計	2,810,572	2,656,257

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	529,001	520,007
短期借入金	525,735	434,599
リース債務	7,958	9,583
未払法人税等	10,868	5,967
賞与引当金	10,122	10,578
その他	86,021	86,524
流動負債合計	1,169,705	1,067,259
固定負債		
長期借入金	300,230	260,744
リース債務	17,929	26,122
繰延税金負債	6,953	5,975
役員退職慰労引当金	93,600	98,100
退職給付に係る負債	174,015	181,456
その他	43,641	44,724
固定負債合計	636,369	617,122
負債合計	1,806,075	1,684,382
純資産の部		
株主資本		
資本金	920,465	920,465
資本剰余金	45,965	45,965
利益剰余金	33,169	2,796
自己株式	△11,091	△11,091
株主資本合計	988,508	958,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,988	13,738
その他の包括利益累計額合計	15,988	13,738
純資産合計	1,004,497	971,874
負債純資産合計	2,810,572	2,656,257

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	2,152,771	2,082,275
売上原価	1,605,140	1,552,516
売上総利益	547,631	529,759
販売費及び一般管理費	※ 582,900	※ 553,693
営業損失(△)	△35,269	△23,933
営業外収益		
受取利息	90	61
受取配当金	912	963
仕入割引	1,769	1,479
破損商品等賠償金	550	432
その他	1,008	1,083
営業外収益合計	4,331	4,019
営業外費用		
支払利息	2,088	2,185
その他	0	0
営業外費用合計	2,088	2,186
経常損失(△)	△33,026	△22,100
特別利益		
固定資産売却益	—	4
投資有価証券売却益	3,496	—
保険解約返戻金	—	346
特別利益合計	3,496	350
特別損失		
固定資産除却損	6	0
保険解約損	—	108
特別損失合計	6	108
税金等調整前四半期純損失(△)	△29,537	△21,858
法人税、住民税及び事業税	1,279	1,516
法人税等合計	1,279	1,516
四半期純損失(△)	△30,816	△23,374
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△30,816	△23,374

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純損失(△)	△30,816	△23,374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,247	△2,249
その他の包括利益合計	2,247	△2,249
四半期包括利益	△28,568	△25,624
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△28,568	△25,624
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△29,537	△21,858
減価償却費	11,148	10,672
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,638	7,441
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,100	4,500
賞与引当金の増減額(△は減少)	100	456
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,571	△1,351
受取利息及び受取配当金	△1,002	△996
仕入割引	△1,769	△1,479
支払利息	2,088	2,185
固定資産除却損	6	0
保険解約損益(△は益)	—	△238
固定資産売却損益(△は益)	—	△4
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,496	—
売上債権の増減額(△は増加)	△41,142	△1,483
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△913	1,490
たな卸資産の増減額(△は増加)	△25,934	13,962
差入保証金の増減額(△は増加)	—	△27
仕入債務の増減額(△は減少)	51,833	△7,513
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,209	2,749
その他	7,998	△4,008
小計	△22,099	4,495
利息及び配当金の受取額	855	844
利息の支払額	△1,737	△1,984
役員退職慰労金の支払額	△2,100	—
法人税等の支払額	△1,061	△6,077
法人税等の還付額	5,793	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△20,348	△2,720
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△233,900	△233,900
定期預金の払戻による収入	233,750	233,900
有形固定資産の取得による支出	△6,380	△12,393
有形固定資産の売却による収入	—	4
無形固定資産の取得による支出	△1,032	△1,804
投資有価証券の売却による収入	4,000	—
貸付金の回収による収入	337	236
保険積立金の積立による支出	△9,031	△9,151
保険積立金の解約による収入	—	6,243
差入保証金の回収による収入	173	15
その他	136	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,946	△16,859
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△80,000	△50,000
長期借入れによる収入	—	20,000
長期借入金の返済による支出	△118,063	△100,622
セール・アンド・リースバックによる収入	—	10,800
リース債務の返済による支出	△3,046	△4,539
自己株式の取得による支出	△2	—
配当金の支払額	△6,891	△6,965
財務活動によるキャッシュ・フロー	△208,002	△131,326
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△240,298	△150,906
現金及び現金同等物の期首残高	1,091,897	1,098,921
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 851,598	※ 948,015

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

当社グループは、健康自然食品の卸売業として単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

当社グループは、健康自然食品の卸売業として単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

(その他注記事項)

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
荷造運送・保管費	156,329千円	144,607千円
貸倒引当金繰入額	1,571	28
給料手当及び賞与	155,709	147,253
研究開発費	13,795	13,712
退職給付費用	14,460	11,251
役員退職慰労引当金繰入額	4,100	4,500
賞与引当金繰入額	9,707	10,178

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
現金及び預金勘定	1,085,198千円	1,181,615千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△233,600	△233,600
現金及び現金同等物	851,598	948,015